

浜下り

破名城海岸・具志頭海岸で潮干狩りや釣りをする人々でにぎわう

沖縄では昔から旧暦の3月3日に女性は浜において身を清めるといふ風習があります。その由来にはこんなストーリーがあります。アカマター伝説……

昔、あるところに非常に美しい娘が住んでいました。その娘のもとに夜な夜な美男が忍び込んでくるようになり、娘はとうとう身ごもってしまいました。どこの誰とも分からない人の子を身ごもったことで困った母親は、男の身元を知るために針を男のすそに刺しておくように言いつけます。翌朝、母親がその糸を辿って行くと糸は岩下の穴に入っており、穴の中をのぞくと、2匹のアカマターが話し合っていました。「私は自分のたねを人間に宿させた。」「人間は利口だ。3月3日に海に行つて波を蹴つたら海水に清められてお腹のお前のたねはずっかりおりにしまふぞ。」この話を聞いた母親は「3月3日にフーチー餅(よもぎ餅)を作つて浜に下り、塩水を3度かぶりなさい。」と娘に助言をしました。娘が母親の言うとおりにやってみるとたちまち陣痛をおこし、お腹の中の蛇の子を流産してまた元の美しい身体に戻りました。

現在では女性だけではなく家族連れやレジャー客など多くの人々が潮干狩りや釣り海水浴等を楽しんでいます。町内でも字破名城ではこの浜下りを字の行事として長年

続けており、刺身やお酒など(馳走)が並びます。今年の浜下りは3月31日(大潮)にあたり、朝早くから破名城の浜にあるウミンチュヤーに行き、お祈り(昔は漁の大量祈願と安全祈願、現在は健康願いとなっている)をした後、午後の干潮時には、浜下りの女性の他、貝拾いをする人や魚釣りを家族連れなど子供から大人まで大勢集まり浜はにぎわいました。その後、字へ戻りお宮では区民の安全と健康祈願をし、根家(ニヤー)へのお供えを行いました。また、字具志頭の具志頭海岸にも多くの人々が集まりました。ある女性は「昔からこの日はすべての女性が浜において身を清めていましたね。体の中にある悪い物を海で清め健康になれるからね。私はこの日に限らず何か災いがあったときはいつでも浜におり厄払いをしますよ。」と話しました。



沖縄県共同募金会より

野の花共同作業所へ車が寄贈される

毎年沖縄県共同募金会で行っている歳末たすけあい義援金は高齢者・障害者・児童・住民全般の生活支援事業や社会参加事業など地域や施設の福祉活動を高めるために配分されています。

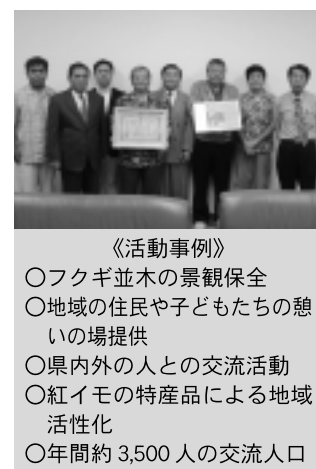
3月29日、沖縄県共同募金会の平成17年度歳末たすけあい義援金より野の花共同作業所へ軽貨物車が寄贈されました。作業所の神谷所長は「とても感謝している。年々町内のご理解を頂き、古紙・アルミ缶・空き瓶などリサイクル品の回収作業も増加しているため、それを運ぶための車が必要だった。これからもっと収益をのばし、利用者の賃金増へとつなげたいと思う。」と話しました。



「沖縄、ふるさと百選」(交流部門)に選ばれました!

3月24日(金)県庁において、「沖縄、ふるさと百選」平成17年度認定の認定証交付式が行われました。

県内から6団体が選ばれ、八重瀬町からは、ぐしちゃん福の木通り会が選ばれました。通り会は、町立具志頭歴史民俗資料館前国道331号沿いの、約120m(71本)のフクギ並木に散策道が完成したことをきっかけに結成し、主に環境美化活動を行っています。また、地域住民の所有地を休憩所として開放し、地域に訪れた都市住民との交流で「フクギ並木と親しむふるさとづくり」に取り組んでいます。



「沖縄、ふるさと百選」とは、厳しい自然環境の中にありながらも、そこで暮らす人々の知恵と努力によって、生産と生活が一体となった豊かな景観を育んできた地域であり、都市住民にとっても「癒やし」と「安らぎ」を与えてくれる魅力ある地域でもあります。このような農山漁村の持つ魅力を県民に広く紹介し、農山漁村に対する理解を深めるため「沖縄、ふるさと百選」として認定し、活性化に役立てるものです。

多くの清掃ボランティアも参加!! このフクギ並木をキレイに保つため、通り会を中心に毎月29日に清掃活動が行われています。通り会のメンバー以外にも近隣住民、具志頭中学校クラブ活動、向陽高校クラブ活動、少年サッカー・野球チーム、他多くの町内住民の方々が清掃ボランティアとして参加しています。3月29日は、通り会メンバー以外に、具中サッカー部と向陽高校バレー部のメンバーが参加していました。

東風平小学校女子ミニバスケットチーム

第17回 島尻地区ミニバスケットボール 新人大会で優勝!!

2連覇達成!!

2月19日から26日までの3日間、与那原小学校ほか3会場で「第17回島尻地区ミニバスケットボール新人大会」が行われました。参加31校中、東風平小学校女子ミニバスケットチームは勝ち進み、決勝リーグの初戦、優勝候補の翔南小学校に後半14点差を巻き返す激戦を制しその後勢いに乗り見事優勝しました。



八重瀬町内小中学校へ堆肥の寄贈

八重瀬町字後原にある「酪農有機肥料生産組合(社長・諸見里真弘)」様より町内小中学校(6校)に、堆肥の寄贈がありました。各学校へ堆肥50袋。学校では、花壇やプランターが多くあり大変感謝しています。大変ありがとございました。



平成18年4月1日から 八重瀬町民の糸満図書館での図書貸し出しスタート!

本町民への糸満市中央図書館での図書貸し出し利用開始セレモニーが4月1日に糸満図書館で行われました。式には糸満市の西平賀雄(にしひらがゆう)市長、大城勇(おおしろいさむ)教育長、八重瀬町の中村信吉(なかむらしんきち)町長、新垣清徳(あらかきせいとく)教育長はじめ多くの関係者等が出席し盛大に挙行されました。西平市長は「旧東風平町では平成14年から町民への図書利用が始まっていますが、合併により、旧具志頭村を含む八重瀬町民に幅広く利用して頂きたい。」とあいさつし、中村町長は「これまで利用させて頂いていたことに心より感謝申し上げます。合併したはまだ財政は厳しい状態にあり、図書館建設については時間を要します。それまでの間、今後とも利用させて頂きますよう宜しくお願いします。」とあいさつしました。



平成18年 第1回 糸満警察署協議会の開催

糸満警察署協議会は、平成13年6月に設置され糸満警察署の管轄区域内における警察業務に関し、署長に意見を述べる機関です。今年4月11日、平成18年度の第1回協議会が開催され委員の方々から安全・安心なまちづくりのための貴重な意見・提言がなされました。協議会委員の任期は2年間で、現在の委員は右記の8名です。

	氏名	職業
会長	平良 茂	医師(医療法人白寿園理事長)
副会長	上原 早苗	糸満校区婦人会会長
委員	伊江 朝昇	(有)南部商事代表取締役
	大城 秀正	糸満市役所職員
	仲里 一夫	仲里設計事務所代表
	上原 勇人	(有)糸満トヨタ自動車取締役
	喜納 留美子	音楽講師(森の音楽館)
	志喜屋 真由美	自営業



委員による質疑状況

今回の協議会では、
●住民・警察合同によるパトロール強化
●水難事故防止に向けて、看板設置及び護岸等での梯子(はしご)の設置要請
●警察の市民に対する良好な応接
●交通安全対策のCD「横断歩道行進曲」等作成の支援
等の意見・提言がなされ、糸満警察署はこれらの意見等を踏まえ、安全・安心なまちづくりを推進することにしました。

【糸満警察署】TEL: 098-995-0110